

治験を実施しています



現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 肺癌
- 腎細胞癌
- 尿路上皮癌
- 多発性骨髄腫
- アミロイドーシス
- 急性骨髄性白血病
- 脳梗塞、くも膜下出血
- 心房細動
- 熱傷
- 乾癬
- 糖尿病黄斑浮腫
- 大うつ病
- 筋萎縮性側索硬化症
- てんかん(成人)

ご協力をお願いします。



ちけん君は
日本医師会
治験促進センターの
キャラクターです。

問合せ: _____
臨床試験管理センター tel.088-633-9294

病院のお仕事いろいろ



病院情報システムの
安定稼働を目指して

病院情報センター

田木真和(たぎ まさと)
助教

病院情報システムとは、放射線部門システムや医事会計システムなど、日々の診療活動を支えるさまざまなシステムの総称です。当院では医療情報技師の認定を持つ職員が所属する病院情報センターで、システムの導入や管理を行っています。徳島大学大学院医歯薬学研究部の医療情報学に所属する田木助教は、病院情報センターの業務も兼任し、電子カルテシステムを含む病院情報システムの企画や導入を担当しています。平成31年1月1日に更新された新病院情報システムの企画案作りなども田木助教が中心となって進められました。「今回のシステム更新は、三つの目標を掲げて進められました。1つ目は処理速度を早くすること、2つ目は障害発生時にも業務が止まらず早期復旧できること、3つ目は必要最低限のカスタマイズのみとし費用を削減することでした。この三つの目標を達成することは勿論、各部署が持つ要望についても、できるだけ添うことできるように調整を行いました。日々の診療が少しでもスムーズに、そして便利になるよう尽力しました。」と田木助教は言います。「また、医療現場では、病院情報システムは安定稼働していて当たり前、という前提があります。システムが止まってしまうと、検査等に支障が出るため、診療活動がストップする事態になりかねません。患者さんに日々の診療を安心して受けていただけるよう、病院情報システムの安定稼働を目指しています。」

